令和８年１１月８日

令和８年度　第２回　大阪市立中野小学校　学校協議会 実施報告書

校園名　大阪市立中野小学校

<table>
<tr><td colspan="2">日 時</td><td colspan="2">令和８年１１月７日</td></tr>
<tr><td colspan="2">場 所</td><td colspan="2">多目的室</td></tr>
<tr><td rowspan="3">出席者</td><td>委員など</td><td colspan="2">（委員）６名　　（欠席）３名</td></tr>
<tr><td>校園</td><td colspan="2">（校長）１名　（教頭）１名</td></tr>
<tr><td>区役所</td><td colspan="2">（子ども教育担当課長）１名</td></tr>
<tr><td colspan="2">議題</td><td colspan="2">令和８年度「運営に関する計画（中間評価)」について</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">協議
要旨</td><td>協議の結果</td><td>意見の概要</td></tr>
<tr><td>・運営に関する計画（中間評価）の内容について教職員で話し合った内容について、項目ごとに説明した。
　また、全国学力学習状況調査の結果について、公開資料を示し、補足説明を加えたうえで参考資料とした。最後に出席者の皆様から承認を得た。</td><td>・運動会で各学年ダンスなどの表現運動を行っているが、まだ言葉がうまく通じない外国から来た児童にとってはとても良い取り組みだと思う。中国語のスエンウコンの会のような取り組みが広がればよい。いろいろな国の児童がくる中で様々な異国のことが知れ、お互い学習につながればよいと思う。
・英語が話せない子が多い。日本語はあまりにも表現する言葉が多い国であるが故だが、今後学校でも「アウトプット」＝「自分の思いを表現し、話す活動」を多く取り入れるとよい。「俳句」づくりの取り組みはあの短い文字数で表現できるよい表現練習だと思う。
・体育が好き。それでも何か一つ自分の好きなことや得意なことを子ども自身が見つけられたら良い。夫婦共働きの世帯が多く、子どもにも助けてもらっている
・「インクルーシブ教育」の実態について、今の学校での教育状況はどのように進めているのか、教えてほしい。⇒お子さん一人ひとり状況が異なるが、まずは子ども・保護者からの教育ニーズを聞いた上で学校ではどんなことができるのかを考え、保護者とも話し合いながらカリキュラムを作っている。
・学習園がいつも充実し、都会なのに自然と触れ合えるような環境を整備されていると感じる。「見つけたよカード」とはどのようなものか教えてほしい・⇒主に生活科で取り組んでいるが授業や休み時間に外へ出て発見したことを絵と文で書きためていく。子ども同士交流することで学習を深められる。
・心の天気を毎朝入力することは結構重たいことだと思う。朝から考え込んでしまうので、振り返りとして終わりの会で入力するのはどうか。⇒大阪市の施策とはいえ、子どもの状況を知る一つの参考となる。短時間でできるよう子どもに負担のないよう今後も進めていく。
・子どもたちが「校長先生！」と話しかけてくれる。これはこれまでの小学校での教育の賜物であると感じている。</td></tr>
<tr><td colspan="2">協議
資料</td><td colspan="2">令和８年度「運営に関する計画（中間評価)」、「全国学力学習状況調査結果」</td></tr>
<tr><td colspan="2">備考</td><td colspan="2">傍聴者[０]名</td></tr>
</table>